



富山大学学報

第94・95号 (昭和42年9月・10月)

目 次

| | |
|-------------------------------|---|
| 関係法令 | 1 |
| 学内規則 | 2 |
| 富山大学教養部長候補者選挙細則の制定 | 2 |
| 富山大学債権管理事務取扱要項の一部改正 | 2 |
| 富山大学事務分掌内規の一部改正 | 3 |
| 富山大学大学院工学研究科規則の一部改正 | 3 |
| 富山大学薬学部規則の一部改正 | 3 |
| 諸会議 | 5 |
| 人事異動 | 5 |
| 学内諸報 | 7 |
| 学部長の改選 | 7 |
| 教養部長の就任 | 7 |
| 昭和43年度富山大学大学院 (修士課程) 合格者発表 | 7 |
| 昭和42年度富山大学開放講座 | 8 |
| 触媒討論会開催報告 | 8 |
| 全国大学国語国文学会 | 8 |
| 日本化学会研究発表講演会・富山地区講演会 | 8 |
| 東海北陸地区国立学校庶務部課長会議 | 9 |
| 職員家族大運動会 | 9 |
| 職員文化展 | 9 |
| 教官の外国出張 | 9 |
| 職員消息 | 9 |
| 主要日誌 | 9 |

関係法令

(官報掲
載月日)

政 令

| | |
|---|-------|
| 地方公務員災害補償法施行令 | 9. 1 |
| 南方地域に渡航する者に対して発給する身分証明書に関する政令の一部を改正する政令 | 9. 1 |
| 義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令の一部を改正する政令 | 9. 21 |

府 令

本邦から南方地域に渡航する者及び沖縄から本

邦に渡航する者に対して発給する身分証明書の発給の申請書等及び身分証明書受領証の様式を定める総理府令(総理43) 9. 1

省 令

| | |
|---------------------------------|-------|
| 奨学寄附金委任経理事務取扱規則の一部を改正する省令(文部16) | 9. 8 |
| 日本学術振興会法施行規則(文部17) | 9. 21 |

訓 令

| | |
|---------------------------------|--------|
| 国立大学の附属図書館に置く分館を定める訓令の一部を改正する訓令 | 9. 7 |
| 奨学寄附金受入事務取扱規程の一部を改正する訓令(文部30) | 9. 8 |
| 国立学校等の職員の休憩時間及び休息時間に関する規程(文部31) | 9. 19 |
| 文部省庁舎管理規則(文部32) | 10. 12 |

規 則

| | |
|---------------------------------|--------|
| 職員の災害補償の一部を改正する規則(人事院16-0) | 10. 12 |
| 日本学術会議会員選挙規則の一部を改正する規則(日本学術会議1) | 10. 25 |
| 俸給の調整額の一部を改正する規則(人事院9-6) | |
| 俸給の特別調整額の一部を改正する規則(同9-17) | |
| 暫定手当の一部を改正する規則(同9-22) | |
| 特殊勤務手当の一部を改正する規則(同9-30) | 10. 26 |
| 会計検査院事務総局事務分掌及び分課規則の一部を改正する規則 | 10. 31 |

告 示

| | |
|---|--------|
| 保健婦助産婦看護婦法の規定による免許を得た後三年以上業務に従事している准看護婦又は高等学校を卒業している准看護婦を二年以上教育する課程(夜間)を増設することを承認した件(文部231) | 9. 2 |
| 短期大学の名称を変更する旨の届出があつた件(文部233) | 9. 23 |
| 教員養成機関が廃止された件(文部234~236) | 9. 29 |
| 技能審査の認定に関する規則を定める件(文部237) | 10. 9 |
| 厚生年金保険の年金受給権者が現況の届出をすべき日を定める件(社会保険庁24) | 10. 23 |
| 大学の位置を変更することを認可した件(文部238) | 10. 27 |

官庁報告

| | |
|-----------------------------------|-------|
| 昭和42年度国家公務員採用上級甲種試験最終合格者(人事院事務総長) | |
| 同 乙種試験最終合格者() | 9. 14 |

昭和42年人事院公示第1号の一部改正に関し
 決定した件（人事院公示11） 10. 20
 故吉田茂国葬儀の期日及び場所（総理府） 10. 28

学 内 規 則

**富山大学教養部長候補者選挙細則
 の制定**

富山大学教養部長候補者選挙細則を次のように制定する
 昭和42年9月6日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学教養部長候補者選挙細則

（趣旨）

第1条 富山大学教養部長選考基準第6条第2項の規定に
 基づき、富山大学教養部長候補者（以下「教養部長候補
 者」という。）の選挙に関しては、この細則の定めると
 ころによる。

（選挙）

第2条 教授会は、学長から教養部長候補者の推薦を求め
 られたときは、次の方法により選挙を行ない、教養部長
 候補者を決定する。

- (1) 無記名式単記投票とする。
 - (2) 投票総数が選挙権者の3分の2に達しないときは、
 再投票を行なう。
 - (3) 有効投票の過半数の得票者を、教養部長候補者とす
 る。
 - (4) 有効投票の過半数の得票者がいないときは、高点者2
 名について投票を行ない、得票数の多い者を教養部長
 候補者とする。得票数が同数であるときは、教授会が
 定めた者を、教養部長候補者とする。
 - (5) 投票用紙に記載した、候補者の氏名が、何人を記載
 したか確認しがたい投票は、無効とする。
- 2 前項の選挙資格者は、教授会の構成員とする。

第3条 教養部長候補者が、やむを得ない事由により辞退し
 たときは、再選挙を行なう。

（選挙管理委員会）

第4条 教授会は、教養部長候補者選挙に関する事務を管
 理するため選挙管理委員会（以下「委員会」という。）
 をおく。

2 委員会は、教授会において、互選された5名の委員を
 もつて構成する。

3 委員会に委員長をおく。委員長は委員の互選による。

第5条 委員会は、次の事項を管理する。

- (1) 選挙日時および選挙場の通知
- (2) 選挙権者、被選挙権者の確認
- (3) 有権者名簿の作成および通知
- (4) 投票、開票の管理ならびに記録
- (5) その他選挙に関する事務

（選挙日時および選挙場）

第6条 委員会は、教授会の議に基き、特別の場合を除
 き、前条第1号に規定する、選挙日時および選挙場につ
 いて、選挙投票日15日前に、有権者に通知しなければな
 らない。

2 第2条第1項第2号および第4号による投票ならびに
 第3条における再選挙の場合は、前項の規定にかかわら
 ず、教授会の議を経て、すみやかにこれを行なうことが
 できる。

第7条 委員会は、選挙の結果を、すみやかに教授会に報
 告するものとする。

（細則の解釈）

第8条 この細則の解釈について、疑義があるとき、また
 は定めのないものは、教授会の決定に従うものとする。

附 則

この細則は、昭和42年9月6日から施行する。

**富山大学債権管理事務取扱要項の
 一部改正**

富山大学債権管理事務取扱要項の一部を改正する要項を
 次のように制定する。

昭和42年9月29日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学債権管理事務取扱要項の一部を改正する要項
 富山大学債権管理事務取扱要項(昭和32年7月1日制定)
 の一部を次のように改正する。

目次中3・C・Iの「チ 公務員宿舍使用料債権」から
 「ヨ 利息債権」までを「リ 公務員宿舍使用料債権」か
 ら「タ 利息債権」として順次1段ずつ繰り下げ、「ト
 不用品物売払代債権」の次に「チ 刊行物売払代債権」を
 加える。

本則中3・C・Iの「チ 公務員宿舍使用料債権」から
 「ヨ 利息債権」までを「リ 公務員宿舍使用料債権」か
 ら「タ 利息債権」として順次1段ずつ繰り下げ、
 「ト 不用品物売払代債権 の次に
 不動産売払代債権の取扱いに準ずる。」
 「チ 刊行物売払代債権 を加える。
 不動産売払代債権の取扱いに準ずる。」

別表第1債権発生等通知（報告）義務者一覧表中、通知
 （報告）の義務者の項の「関係学部長」を「関係部局長」
 に、担当部局の項の「関係学部」を「関係部局」に、「附
 属学校事務室」を「附属学校係」に改め、債権の種類名の
 項の「不用品物売払代債権」欄の次に次の1欄を加える。

| | | | | | | | |
|--------------|-----|---|---|---|--|--|--|
| 刊行物売 払代債権 | 5-M | ク | ク | ク | | | |
|--------------|-----|---|---|---|--|--|--|

別紙第4号の2の2書式名を次のように改める。

不動産売払代償権
 製品売払代償権
 農産物売払代償権 発生通知内訳書
 不用物品売払代償権
 刊行物売払代償権

附 則

この要項は、昭和42年9月29日から施行し、昭和42年9月1日から適用する。

富山大学事務分掌内規の一部改正

富山大学事務分掌内規の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和42年10月7日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学事務分掌内規の一部を改正する内規

富山大学事務分掌内規（昭和39年2月10日制定）の一部を次のように改正する。

第7条を次のように改める。

総務係

- (1) 会議及び行事に関する事。
- (2) 公印の管守に関する事。
- (3) 文書の収発、編集及び保存に関する事。
- (4) 文書の浄書に関する事。
- (5) 出張、休暇及び勤務時間の管理に関する事。
- (6) 宿日直に関する事。
- (7) 職員の各種証明に関する事。
- (8) 任免、給与、分限、懲戒及び服務に関する事。
- (9) 栄典及び表彰に関する事。
- (10) 共済組合に関する事。
- (11) 退職手当に関する事。
- (12) 公務災害補償に関する事。
- (13) 職員の健康管理及び福祉に関する事。
- (14) 職員団体に関する事。
- (15) 人事記録の作成及び保存に関する事。
- (16) 諸規則の制定、改廃に関する事。
- (17) 予算決算に関する事。
- (18) 物品及び役務の支出負担行為に関する事。（図書館資料を除く。）
- (19) 物品の管理に関する事。
- (20) 国有財産の保全及び管轄に関する事。
- (21) 諸収入及び現金の出納保管に関する事。
- (22) 給与及び旅費等の支払に関する事。
- (23) 分館との連絡に関する事。
- (24) 庶務、会計の企画及び調査、統計に関する事。
- (25) 他係に属しないこと。

受入係

- (1) 図書館資料の購入手続きに関する事。

- (2) 寄贈資料等の受入れに関する事。
- (3) 図書館資料の検収及び登録に関する事。
- (4) 図書館資料の除籍等の払出しに関する事。
- (5) 図書館資料の製本及び修理に関する事。
- (6) 受入れ資料の調査及び統計に関する事。

整理係

- (1) 図書館資料の分類に関する事。
- (2) 図書館資料の件名に関する事。
- (3) 図書館資料の目録カードの作成に関する事。
- (4) 図書館資料の冊子目録の作成に関する事。
- (5) 図書館資料の調査及び統計に関する事。

閲覧係

- (1) 図書館資料の閲覧及び貸出しに関する事。
- (2) 図書館資料の保管に関する事。
- (3) 閲覧カードの配列に関する事。
- (4) 参考事務に関する事。
- (5) 文献複写に関する事。
- (6) 図書館資料の相互貸借に関する事。
- (7) 閲覧及び貸出しの調査及び統計に関する事。

附 則

この内規は、昭和42年10月7日から施行し、昭和42年10月1日から適用する。

富山大学大学院工学研究科規則の一部改正

富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和42年10月28日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学大学院工学研究科規則の一部を改正する規則
 富山大学大学院工学研究科規則（昭和42年5月19日制定）の一部を次のように改正する。

別表中工業化学専攻の授業科目「|分析化学特論|2|」を
 「|分析化学特論|4|」に改める。

附 則

この規則は、昭和42年10月28日から施行し、昭和42年5月22日から適用する。

富山大学薬学部規則の一部改正

富山大学薬学部規則の一部を改正する規則を次のように制定する。

昭和42年10月28日

富山大学長 横田嘉右衛門

富山大学薬学部規則の一部を改正する規則
 富山大学薬学部規則（昭和40年1年20日制定）の一部を

次のように改正する。

この規則中「及び」を「および」、「又は」を「または」に、「並びに」を「ならびに」に改める。

第1条を次のように改める。

第1条 富山大学薬学部（以下「本学部」という。）に次の学科をおく。

薬 学 科
製薬化学科

第9条を次のように改める。

第9条 学生は在学期間を通じ、一般教育科目、外国語科目および保健体育科目については63単位以上、専門教育科目については92単位以上、合計155単位以上を履修取得しなければならない。

第4章の章名を次のように改める。

第4章 転部、転科、転入学および編入学

第14条を次のように改める。

第14条 本学部各学科において定員および施設等（以下「学生の定員等」という。）に余裕がある場合は、選考の上、本学部への転部または本学部内の転科を許可することができる。

2 転部および転科の時期は、一般教育課程が終了したときとする。

第15条中「転部」を「転部および転科」に改める。

第16条中「転部希望者」を「転部および転科希望者」に改める。

別表中専門教育科目の表を次のとおり改める。

（別紙のとおり）

附 則

この規則は、昭和42年10月28日から施行し、昭和41年4月1日から適用する。ただし、昭和42年度において3年次および4年次の学生については、なお従前の例による。

専 門 教 育 科 目

必修科目63単位，選択科目29単位以上（◎印9単位以上含む）

合計92単位以上を履修取得しなければならない。

| 薬 学 科 | | | 製 薬 化 学 科 | | |
|---------|-----|-----------|-----------|-----|---------------|
| 授業科目 | 単位数 | 備考 | 授業科目 | 単位数 | 備考 |
| (必修科目) | | | (選択科目) | | |
| 無機化学 | 1 | | ◎薬品合成化学 | 3 | |
| 有機化学Ⅰ | 4 | | ◎薬品製造工学 | 3 | |
| 〃Ⅱ | 2 | | ◎薬品物理化学 | 3 | |
| 化学分析学 | 2 | | ◎薬化学 | 3 | |
| 物理化学 | 2 | | ◎薬剤製造学 | 3 | |
| 量子化学 | 2 | | ◎生物薬品製造学 | 3 | |
| 物理分析学 | 2 | | 微生物薬品製造学 | 1 | |
| 細胞生物学 | 2 | | 天然物化学Ⅰ | 2 | |
| 細胞化学 | 2 | | 〃Ⅱ | 2 | |
| 基礎生化学 | 2 | | 薬局管理論 | 1 | |
| 基礎薬理学 | 2 | | 基礎医学Ⅰ | 2 | 生理・解剖学・病理学を含む |
| 薬品生物化学 | 3 | | 〃Ⅱ | 1 | |
| 薬品作用学 | 3 | | 病態生化学 | 2 | 臨床試験法を含む |
| 衛生化学Ⅰ | 3 | | 病原微生物学 | 1 | |
| 薬剤学Ⅰ | 3 | | 化学工学 | 2 | |
| 薬品分析学 | 3 | | 応用数学 | 2 | |
| 生薬学Ⅰ | 3 | | 推計学 | 1 | |
| 合成化学系実習 | 3 | ガラス細工実習含む | 文献学 | 1 | |
| | | | (必修科目) | | |
| | | | 無機化学 | 1 | |
| | | | 有機化学Ⅰ | 4 | |
| | | | 〃Ⅱ | 2 | |
| | | | 化学分析学 | 2 | |
| | | | 物理化学 | 2 | |
| | | | 量子化学 | 2 | |
| | | | 物理分析学 | 2 | |
| | | | 細胞生物学 | 2 | |
| | | | 細胞化学 | 2 | |
| | | | 基礎生化学 | 2 | |
| | | | 基礎薬理学 | 2 | 生理・解剖学・病理学を含む |
| | | | 薬品合成化学 | 3 | |
| | | | 薬品製造工学 | 3 | |
| | | | 薬品物理化学 | 3 | |
| | | | 薬化学 | 3 | |
| | | | 薬剤製造学 | 3 | |
| | | | 生物薬品製造学 | 3 | |
| | | | 合成化学系実習 | 3 | ガラス細工実習含む |
| | | | ◎薬品生物化学 | 3 | |
| | | | ◎薬品作用学 | 3 | |
| | | | ◎衛生化学Ⅰ | 3 | |
| | | | ◎薬剤学Ⅰ | 3 | |
| | | | ◎薬品分析学 | 3 | |
| | | | ◎生薬学Ⅰ | 3 | |
| | | | 微生物薬品製造学 | 1 | |
| | | | 天然物化学Ⅰ | 2 | |
| | | | 〃Ⅱ | 2 | |
| | | | 薬局管理論 | 1 | |
| | | | 基礎医学Ⅰ | 2 | 生理・解剖学・病理学を含む |
| | | | 〃Ⅱ | 1 | |
| | | | 病態生化学 | 2 | 臨床試験法を含む |
| | | | 病原微生物学 | 1 | |
| | | | 化学工学 | 2 | |
| | | | 応用数学 | 2 | |
| | | | 推計学 | 1 | |
| | | | 文献学 | 1 | |

| | | | | | | | |
|---------------|-----|-------------|---|---------------|-----|-------------|---|
| 分析化学系実習 | 3 | 薬品製造化学 | 2 | 分析化学系実習 | 3 | 薬品製造化学 | 2 |
| 物理化学系実習 | 3 | 薬学概論 | 1 | 物理化学系実習 | 3 | 薬学概論 | 1 |
| 生物化学系実習 | 3.5 | 電子工学 | 2 | 生物化学系実習 | 3.5 | 電子工学 | 2 |
| 薬剤学実習 | 1 | 放射化学・放射線保健学 | 1 | 薬剤学実習 | 1 | 放射化学・放射線保健学 | 1 |
| 生薬学実習 | 1 | 生薬学Ⅱ | 2 | 生薬学実習 | 1 | 生薬学Ⅱ | 2 |
| 放射化学・放射線保健学実習 | 0.5 | 和漢生薬学 | 1 | 放射化学・放射線保健学実習 | 0.5 | 和漢生薬学 | 1 |
| 演習 | 2 | ※衛生化学Ⅱ | 2 | 演習 | 2 | ※衛生化学Ⅱ | 2 |
| 特別研究 | 5 | ※薬剤学Ⅱ | 2 | 特別研究 | 5 | ※薬剤学Ⅱ | 2 |
| | | ※薬事衛生法規 | 1 | | | ※薬事衛生法規 | 1 |
| | | ※薬局方概論 | 2 | | | ※薬局方概論 | 2 |

- 備考 (1) 薬剤師の免許を必要とするものは国家試験を受験するため
 ※印の選択科目を履修取得することが望ましい。
 (2) 選択科目は随時変更することがある。

諸 会 議

第4回 協議会 第10回 評議会 (9月8日)

(協議会議題)

- 次期学長候補者の選考について
(評議会議題)
- 教官人事について
- 昭和43年度富山大学入学者選抜学力検査問題作成主任委員の選考について
- その他

第5回 協議会 第11回 評議会 (9月25日)

(協議会議題)

- 富山大学教養部長の選考について
(評議会議題)
- 学生の再入学について
- その他

第12回 評議会 (10月6日)

(議題)

- 昭和42年9月卒業見込者の認定について
- その他

第13回 評議会 (10月10日)

(議題)

- 経済学部の問題について

第14回 評議会 (10月11日)

(議題)

- 経済学部の問題について

第15回 評議会 (10月17日)

(議題)

- 昭和43年度富山大学学生募集要項(案)等について
- 経済学部の問題について

第16回 評議会 (10月28日)

(議題)

- 経済学部の問題について

人 事 異 動

| 現 官 職 | 氏 名 | 異 動 内 容 | 発令年月日 | 発 令 者 |
|------------------|---------|--------------------------------|----------|---------|
| 教 授 (文理学部) | 竹 内 豊三郎 | 文理学部長に併任する (任期は昭和44.8.31まで) | 42. 9. 1 | 文 部 大 臣 |
| (/ /) | 田 中 専一郎 | 評議員に併任する (任期は昭和44.5.31まで) | / / | / / |
| 助 教 授 (教 養 部) | 近 藤 堅 二 | 教授(教養部)に昇任させる | / / | / / |
| (/ /) | 平 田 一 郎 | / / | / / | / / |
| (/ /) | 柿 岡 時 正 | / / | / / | / / |
| (/ /) | 梅 原 隆 章 | / / | / / | / / |

| | | | | |
|----------------------|-----------|-------------------------------|-----------|-------|
| 講師 (教養部) | 有 沢 一 男 | 助教授(教養部)に昇任させる | 42. 9. 1 | 文部大臣 |
| 助 () | 藤 井 昭 二 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 助 (東京大学) | 西 荒 介 | 教授(薬学部)に昇任させる | 〃 | 〃 |
| 教授 (工学部) | 養 田 実 | 学生部長に併任する (任期は昭和44.9.14まで) | 42. 9. 15 | 〃 |
| () | 村 中 利 吉 | 工学部長に併任する (任期は昭和44.9.30まで) | 42. 10. 1 | 〃 |
| 教授 (教養部) | 大 島 文 雄 | 教養部長に併任する (任期は昭和43.3.31まで) | 〃 | 〃 |
| () | 柿 岡 時 正 | 評議員に併任する (任期は昭和44.4.24まで) | 〃 | 〃 |
| | 近 藤 正 男 | 教授(工学部)に採用する | 〃 | 〃 |
| | 中 村 剛 | 助教授(教育学部)に採用する | 〃 | 〃 |
| 助 教 授 (東北大学) | 斉 藤 節 | 教授(教養部)に昇任させる | 〃 | 〃 |
| 〃 (経営短期大学部) | 藤 本 利 躬 | 助教授(岡山大学)に配置換する | 〃 | 〃 |
| | 金 岡 静 子 | 事務補佐員(薬学部)に採用する | 42. 8. 18 | 富山大学長 |
| | 菅 野 延 彦 | 講師(薬学部)に採用する | 42. 9. 1 | 〃 |
| 文 部 事 務 官 (文理学部) | 大 畑 憲 司 | 復職させる | 42. 9. 4 | 〃 |
| | 豊 本 勉 | 技能員(工学部)に採用する | 42. 9. 16 | 〃 |
| | 高 田 正 道 | 技能補佐員(教養部)に採用する | 42. 9. 22 | 〃 |
| 文 部 技 官 (薬学部) | 塩 田 和 子 | 辞職を承認する | 42. 9. 30 | 〃 |
| | 谷 川 宗 隆 | 経営短期大学部講師に採用する | 42. 10. 1 | 〃 |
| | 酒 井 俊 | 教務員(工学部)に採用する | 〃 | 〃 |
| 助 手 (文理学部) | 畠 脩 三 | 講師(教養部)に昇任させる | 〃 | 〃 |
| 文 部 事 務 官 (附属図書館) | 村 田 修 身 | 附属図書館受入係長に昇任させる | 〃 | 〃 |
| 技 術 員 (会計課) | 岡 田 勝 二 | 文部技官に任官させる | 〃 | 〃 |
| (施 設 課) | 永 井 繁 夫 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (工 学 部) | 北 村 岩 雄 | 〃 | 〃 | 〃 |
| () | 高 安 勇 吉 | 〃 | 〃 | 〃 |
| () | 高 瀬 博 文 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 教 務 員 () | 村 井 忠 邦 | 〃 | 〃 | 〃 |
| () | 高 田 節 子 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 技 能 員 (会計課) | 永 盛 祐 介 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (厚 生 課) | 藤 田 正 義 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 事 務 員 (庶務課) | 野 田 敏 明 | 文部事務官に任官させる | 〃 | 〃 |
| (会 計 課) | 羽 根 俊 | 〃 | 〃 | 〃 |
| () | 新 田 昌 六 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (厚 生 課) | 川 又 忠 次 郎 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (文 理 学 部) | 大 森 貞 夫 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (教 育 学 部) | 塚 田 健 夫 | 〃 | 〃 | 〃 |

| | | | | |
|---------------|--------|-----------------|-----------|-------|
| 事務員 (教育学部) | 黒田 芳雄 | 文部事務官に任官させる | 42. 10. 1 | 富山大学長 |
| (経済学部) | 今井 稔 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (〃) | 魚住 淳一 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (薬学部) | 諏訪 利明 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (工学部) | 沖野 雪子 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (〃) | 林 淳子 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (〃) | 山本 紫津 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (〃) | 荒谷 孝之 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (〃) | 東 敏 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (教養部) | 松下 健作 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (附属図書館) | 伊井 典子 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (〃) | 松下 義春 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (〃) | 高辻 大四郎 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (〃) | 浦上 淳子 | 〃 | 〃 | 〃 |
| (経営短期大学部) | 大房 進 | 〃 | 〃 | 〃 |
| | 太田 久則 | 臨時事務員(厚生課)に採用する | 〃 | 〃 |

学 内 諸 報

学 部 長 の 改 選

文理学部長

高瀬文理学部長の任期満了(8月31日)にともなう学部長選挙は7月5日文理学部において行なわれた。竹内豊三郎教授が文理学部長に選ばれ、9月1日に就任された。

竹内教授は昭和16年3月北海道帝国大学理学部を卒業し、直ちに中島飛行機株式会社東京製作所に入社、同17年8月より18年9月まで東京帝国大学航空研究所に勤務、昭和21年3月北海道帝国大学触媒研究所嘱託、同23年7月同大学助教授、同26年2月論文「気筒内の燃焼の研究」により理学博士の学位取得。同年8月富山大学教授に配置換え、同33年11月から35年6月まで学術研究のためアメリカ合衆国に出張。同42年4月富山大学評議員に併任。石川県出身。

工学部長

上野工学部長の辞任申出により、9月13日工学部において学部長選挙が行なわれ、村中利吉教授が工学部長に選ばれ10月1日に就任された。

村中教授は昭和8年6月大阪帝国大学工学部を卒業し、同年7月大阪市技手、高速鉄道部勤務。同9年2月日本曹達技手、同13年12月日本特殊工業設計部長、同14

年5月不二越鋼材工業技師ならびに検査部長等に就任。同23年3月高岡工業専門学校教授。同26年3月富山大学工学部助教授。同29年12月富山大学工学部教授昇任。同36年6月より38年5月まで評議員併任。高岡市出身。

教 養 部 長 就 任

教養部は昭和42年4月1日、教養部長の職務は横田学長の教養部長事務取扱により発足したが、9月23日教養部長選挙が行なわれ、大島文雄教授が初代教養部長に選ばれ就任された。

大島教授は大正15年3月東京帝国大学文学部を卒業し、昭和2年4月旧制富山高等学校教授、同24年6月富山大学教授、同34年9月富山大学学生部長に併任、同37年9月富山大学文理学部長事務代理、同42年4月富山大学評議員に併任、同大学教養部に配置換え、同42年10月同大学教養部長併任。富山市出身。

昭和43年度富山大学大学院(修士課程) 合格者発表

昭和43年度富山大学大学院薬学研究科募集人員約20名、試験期日は9月19日、20日。工学研究科募集人員34名、試験期日は9月22日、23日。それぞれの研究科で試験を実施し次のとおり合格者を発表した。

◎ 薬学研究科合格者7名(9月23日発表)

塚 林 和 雄 大 西 須 美 子
宮 崎 博 子 市 沢 詔 子

伊藤和子 奥村啓輔
滑川安彦

◎ 工学研究科合格者14名（9月28日発表）

前田勉 三木修武
酒井俊 神田芳数
戸田与志雄 早瀬英男
前健彦 舟本孝雄
小松弘昌 高林莞二
石尾寿万 浅村英泰
川井弘宗 栗林健

昭和42年度 富山大学開放講座

（教養のための県民講座）

教養部主催による富山大学開放講座が、9月9日から10月28日にわたり富山本願寺を会場として行われた。

一般県民の文化的環境をひろめ、生活知識の向上をはかる趣旨のもとに、今回は人文科学を対象として人文科学系の教官全員がその講師となって開催された。

募集人員100名はすでに締切前超過し、申込みのことに係員は大わらわとなった。約2ヶ月にわたる当講座は期間中毎土曜、日曜日の午後6時から開かれ、延べ15回にわたって行われたが、会社員の女性をはじめ、学校教員、公務員、主婦、あるいは60才近くの年輩のひとびとをまじえ、毎回熱心な聴講がつづけられた。

最終回、大島教授の講義に引続き修了式が行われ、優秀出講者への修了証の伝達があって好評のうちに講座の幕を閉じた。

触媒討論会開催報告

第21回触媒討論会が10月3日（火）から5日（木）までの3日間、富山大学学生会館の大集会室で行なわれた。この討論会は、これまで、札幌、東京および大阪（または京都）の3地区で交互に行なわれ、それ以外の地区へ会場が移されたのは今回が初めてである。討論会への参加論文は39件で、それ以外に研究発表が13件あり、これまでのうち、もっとも件数の多い充実した会となった。本学からは榎本研究室（薬）と竹内研究室（文理）から発表があった。討論参加者は約400名で、各報告への討論のほか3回にわたり行なわれた。

総括討論に対しても時間的に制限しなければならない程に活発な討論がなされ、今後の触媒研究への新しい多くの示唆を残したのは大きな収穫であった。また多くの参加者に、本学における触媒研究の実態を紹介する機会を持つことが出来たのも特に付記すべき収穫であった。

全国大学国語国文学会

全国大学国語国文学会（事務局・東京大学代表理事久

松潜一）昭和42年度秋季大会は、本学文理学部国文学研究室主催のもとに、10月21日・22日の両日にわたって、本学において行なわれた。

国文学関係の、本学における学会開催は既に数度に及ぶが、全国的な全分野にわたる学会は、今回最初の事として、関係者の寄せる期待は大きく、その成果は大なるものがあった。参加人員は約250名、地方における学会としては盛会であった。

本学関係の講演者並びに研究発表者は、大島文雄（教養部教授）、山口博（文理学部助教授）、増田欣（教育学部助教授）である。

大会日程は次の通り。

第1日＜研究発表＞「大伴家持語彙考」職業訓練大学校川上寅吉、「人麻呂歌風の確立」神戸商船大学釜田喜三郎、「貫之伝についての一考察」東海大学村瀬敏夫、「元良親王の色好み」富山大学山口博、「芥川竜之介と小泉八雲」弘前学院短大広瀬朝光、「赤い鳥の童話」昭和女子大学滝沢典子、「大衆文学前史」早稲田大学興津要、「本居宣長の古道論」作新女子短大萱沼紀子。＜公開講演＞「俳人浪化」富山大学大島文雄、「中世文学界における歌謡と説話」国学院大学臼田甚五郎。＜懇親会＞

第2日＜研究発表＞「枕草子及び源氏物語から見た王朝美」府立今宮工高西義一、「平安時代用語の語感」鈴木工専進藤義治、「唐物語と蒙求」鶴見女子大池田利夫、「太平記における白詩の訓読」富山大学増田欣、「黒部48ヶ瀬とかや再考」富山女子高田清季博、「お伽草子から仮名草子へ」二松学舎大学青山忠一、「万の文反古の一視点」慶応大学松谷昭彦、「平山藤五の説話学」北海道教育大学中塩清臣。＜調査研究＞万葉遺跡巡り。

日本化学会研究発表講演会・富山地区講演会

日本化学会近畿支部・高分子学会北陸支部主催、富山大学後援により10月27日富山大学において研究発表講演会ならびに富山地区講演会が開催された。

当日は午前9時より教育学部A・B両会場で21件の研究発表講演があり、熱心な質疑応答が行なわれた。また午後1時より学生会館で東京大学教授森野米三氏の「分子構造の正確な表現法」と大阪大学教授谷久也氏の「立体特異性重合触媒」についての講演があり、約300名が聴講した。その後下記の化学教育映画が上映され午後5時閉会した。

映画題目

- ① Ionization energy
- ② Molecular spectroscopy
- ③ Shapes and polarities molecules
- ④ Organic Synthesis

東海北陸地区国立学校庶務部課長 会議

第13回東海北陸地区国立学校庶務部課長会議は10月5日午前10時より富山大学本部会議室にて開催された。

参加者は文部省大臣官房人事課総務班主査村上虎太氏を初め金沢大学、福井大学、岐阜大学、静岡大学、名古屋大学、愛知教育大学、名古屋工業大学、鳥羽および富山商船高等学校の各庶務部課長ならびに事務長と、富山大学事務局長、庶務課長等約30名で「東海北陸地区国立学校庶務系職員研修、非常勤職員に対する寒冷地手当相当給与の支給について、および休憩時間、休息時間について」種々検討ならびに懇談を行ない、午後3時会議を終了。続いて広貫堂を見学し、登山センター等を視察後解散した。

職員家族大運動会

第6回富山大学職員家族大運動会は10月14日（土）午後1時より生憎雨天のため会場を変更し、新体育館で教職員約300名参加のもとで開催され、競技内容および成績は次のとおりであった。

競技種目

- ①びん玉レース ②糸巻きレース ③活字ひろい
- ④玉入れ ⑤なし狩り ⑥百足競走
- ⑦スプーンレース ⑧綱引き ⑨猫に紙袋
- ⑩渡し舟リレー ⑪風船リレー

競技成績

| | | |
|----|---------------|-----|
| 優勝 | 経済学部・図書館・経営短大 | 37点 |
| 次勝 | 教育学部・附属学校 | 34点 |
| 3位 | 薬学部 | 31点 |
| 4位 | 本部 | 30点 |
| 〃 | 文理学部・教養部 | 30点 |
| 〃 | 工学部 | 30点 |

職員文化展

本学職員レクリエーション文化部主催の職員文化展が10月30日（月）より11月4日（土）まで文化の日を中心に学生会館第1集会室にて開催された。

会場には書道、写真、絵画、手芸、華道の各班から60名の作品が出品展示される一方、同期間中の11月2日に茶道班による茶会が職員ホールで、一般職員の多数参加により行われた。

教官の外国出張

本年9月・10月における教官の外国出張者は次のとおり。

（所属官職氏名、出張期間、出張先国、出張目的の順）

教育学部助教授 大塚恵一 42.10.8~43.10.7

ドイツ連邦共和国。社会科教育の理論構成のための基礎研究。

経済学部助教授 新田隆信 42.10.15~43.8.14

連合王国、アイルランド、アメリカ合衆国、オーストラリア。英米法域諸国における立法過程の研究。

職員消息

<新任者>

- 厚生課 臨時用務員 太田 久則
- 教育学部 助教授 中村 剛
- 薬学部 教授 西 荒介
- 講師 菅野 延彦
- 事務補佐員 金岡 静子
- 工学部 教授 近藤 正男
- 教務員 酒井 俊
- 技能員 豊本 勉
- 教養部 教授 斉藤 節
- 技能補佐員 高田 正道
- 短期大学部 講師 谷川 宗隆

<住所変更>

- 教育学部 講師 田中 晋
- 薬学部 事務官 奥田 雅子
- 教養部 講師 石田 安弘

<町名変更>

- 工学部 教授 上野 亨
- 用務員 瀬島勝次郎

主要日誌

本 部

- 9月7日 入学試験管理委員会
- 8日 協議会（第4回）ならびに評議会（第10回）
- 23・24日 庶務課レクリエーション（奥能登1泊）
- 23・24日 会計課レクリエーション（白雲楼ホテル1泊）
- 25日 協議会（第5回）ならびに評議会（第11回）
- 28・29日 大学本部物品管理検査
- 10月2・3日 同上
- 5・6日 東海北陸地区庶務部課長会議

- 6日 評議会（第12回）
- 10日 評議会（第13回）
- 11日 評議会（第14回）
- 14日 事務協議会
職員家族大運動会
- 17日 評議会（第15回）
- 19・20日 共済組合北陸地区協議会
- 21日 親和会レクリエーション
- 28日 評議会（第16回）
- 28・29日 施設課レクリエーション(片山津温泉1泊)
- 30～11月4日 職員文化展

文理学部

- 9月4日 学部内予算配分委員会
- 6日 教授会
 - ♪ 人事教授会
- 9日・10日 学部レクリエーション泊旅行(長野県戸隠高原)
- 13日 教授会
- 14日 前期授業終了
- 23日 富山史壇会
- 10月3日～5日 触媒討論会
- 12日 教授会
 - ♪ 人事教授会
 - ♪ 選考委員会
- 13日 後期授業開始
- 18日 県教育委員会との就職懇談会
- 20日 全国大学国語国文学会
- 27日 日本化学会近畿支部、高分子学会北陸支部研究発表講演会(会場富山大学)

教育学部

- 9月3日～5日 北信越附属学校協議会
- 4日 人事教授会
- 8日 教務委員会
- 10日 附属学校研究発表会
- 13日 教授会
 - ♪ 予算委員会
 - ♪ 職業補導委員会
- 18日 選考委員会
 - ♪ 学部図書委員会
- 19日 選考委員会
- 20日 教授会
 - ♪ 予算委員会
- 24日 学窓会
- 27日 人事教授会
 - ♪ 教務、補導合同委員会
- 29日 選考委員会
 - ♪ 予算委員会

- 30日・10月1日 学部レクリエーション泊旅行(湯田中温泉, 戸隠高原)

- 10月3日 附属学校運営委員会
- 4日 教務委員会
 - ♪ 教務、補導合同委員会
 - ♪ 補導委員会
 - ♪ 教授会
- 5日・6日 日本教育大学協会第2部会音楽部会
- 7日 後期授業開始
- 11日 予算委員会
- 12日 学部図書委員会
- 17日 附属小学校陸上競技大会
 - ♪ 補導委員会
- 18日 選考委員会
- 18日 予算委員会
 - ♪ 附属中学校陸上競技大会
- 21日・22日 学部レクリエーション泊旅行(山代温泉)
- 25日 補導委員と学生との懇談会
 - ♪ 選考委員会
- 26日 人事教授会
- 30日 教務委員会
 - ♪ 卒業証書授与(一部学生のみ)

経済学部

- 9月1日 授業開始
- 5日 第26回職業補導委員会
 - ♪ 教務委員会
- 7日 人事教授会
 - ♪ 第10回教授会
- 11日 学部図書委員会
- 12日 財務委員会
- 14日 前期授業終了
 - ♪ 学部図書委員会
 - ♪ 第11回教授会
- 16日 補講
- 16日・17日 学部レクリエーション泊旅行(宇奈月温泉・黒部峡谷)
- 18日～26日 前期末試験
- 19日 第27回職業補導委員会
- 20日 財務委員会
- 10月2日 人事教授会
 - ♪ 第12回教授会
 - ♪ 学部補導委員会
 - ♪ 第28回職業補導委員会
- 14日 オリエンテーション
 - ♪ 教務委員会
- 16日 後期授業開始

17日 第29回職業補導委員会

19日 第13回教授会

30日 教務委員会

薬学部

9月1日 教授会

- 昭和43年度大学院薬学研究科願書受付（14日まで）

2日 カリキュラム小委員会

5日 同上

9日 第1回和漢薬シンポジウム 11日まで（立山荘にて）

13日 カリキュラム小委員会

14日 同上

16日 教授会

19日・20日 昭和43年度大学院薬学研究科入学試験

20日 薬学研究科委員会

21日 カリキュラム小委員会

22日 同上

23日 昭和43年度大学院薬学研究科合格者発表

28日 教授会

29日 薬品製造工学教官選考委員会

10月6日 学部図書委員会

9日 教授会

13日 教授会

14日 専門課程進学学生オリエンテーション

27日 学部図書委員会

工学部

9月6日 専任教授会及び一般教授会

- 大学院工学研究科委員会

13日 一般教授会

22日・23日 昭和43年度大学院工学研究科入学試験

26日 大学院工学研究科委員会

28日 教官懇談会

10月4日 一般教授会及び専任教授会

16日 一般教授会

17日 二年次学生オリエンテーション

26日 工学部職員血液型検査実施

29日 学部レクリエーション（大牧温泉）

30日 一般教授会及び教官懇談会

教養部

9月1日 授業開始

6日 教授会

9日・10日 富山大学開放講座（第1・第2回）

9日・10日 職員レクリエーション泊旅行（鶴来温泉）

13日 教授会

14日 前期授業終了

16日～30日 前期末試験

16日・17日 富山大学開放講座（第3・第4回）

23日・24日 同上（第5・第6回）

25日 教養部長選挙

- 教授会

30日 乗用車引受式

9月30日・10月1日 富山大学開放講座（第7・第8回）

10月7日・8日 同上（第9・第10回）

12日 後期授業開始

14日・15日 富山大学開放講座（第11・第12回）

18日 教授会

21日 工学部対文理・教養親善交歓野球

21日・22日 富山大学開放講座（第13・第14回）

28日 富山大学開放講座（第15回）

30日 非実験系予算打合せ

附属図書館

9月1日 時間外開館開始

- 指定図書目録配布

- 文献複写規則制定と学内複写要領配布

2日 パンフレット「指定図書」配布

5日 事務打合せ（第5回）

7日 同上（本館内）

8日 図書館商議会（第3回）

26日 事務打合せ（第6回）

29日 同上（本館内）

10月1日 受入係設置

19日 司書身分の説明会

25日 事務打合せ（本館内）

28日・29日 職員レクリエーション泊旅行（城崎温泉）

経営短期大学部

9月10日・11日 短大事務レクリエーション泊旅行（山中温泉）

16日・17日 経済・短大合同レクリエーション泊旅行（宇奈月温泉）

18日～23日 前期末試験

22日 教授会

- 藤本教官送別会

25日～30日 集中講義（経済学特殊講義）

27日 九州大学副田教授との懇談会

10月2日 後期授業開始

9日 授業料減免選考委員会

11日 教授会

編集

富山大学庶務課
富山市五福3190

印刷所

中央印刷株式会社
富山市下奥井28
電話 ㊶6772 ㊷8061番